

年間第3主日

ふくいん ルカ1・1~4、4・14~21

わたしたちのあいだでじつげんしたことがらについて、せいしよからもくげきしてみことばのためにはたらいたひとびとがわたしたちにつたえたとおりに、ものがたりをかきつらねようと、おおくのひとびとがすでにてをつけています。そこで、けいあいするテオフィロさま、わたしもすべてのことをはじめからくわしくしらべていますので、じゅんじょたたくかいてあなたにけんていするのがよいとおもいました。おうけになったおしえがかくじつなものであることを、よくわかっていただきたいのであります。

イエスは” れい “のちからにみちてガリラヤにかえられた。そのひょうばんがまわりのちほういったいにひろまった。イエスはしよかいどうでおしえ、みなからそんけいをうけられた。

イエスはおそだちになったナザレにきて、いつものとおりあんそくびにかいどうにはいり、せいしよをろうどくしようとしておたちになった。よげんしゃイザヤのまきものがわたされ、おひらきになると、つぎのようにかいてあるかしょがめにとまった。

「しゅのれいがわたしのうえにおられる。まずしいひとにふくいんをつげしらせるために、しゅがわたしにあぶらをそそがれたからである。しゅがわたしをつかわされたのは、とらわれているひとにかいほうを、めのみえないひとにしりよくのかいふくをつげ、あっぱくされているひとをじゆうにし、しゅのめぐみのとしをつげるためである。」

イエスはまきものをまき、かかりのものにかえてせきにすわられた。かいどうにいるすべてのひとのめがイエスにそそがれていた。そこでイエスは「このせいしよのことばは、きょう、あなたがたがみみにしたとき、じつげんした。」とはなしはじめられた。

イエスさまといっしょにかみさまのしごとをしていたひとたちはじぶんたちがみたことをわたしにつたえられたとおりにあなたにかくじつにつたえます。

イエスさまのよいひょうばんはそのちほうにひろまっていた。イエスさまは“れい”にみたされてガリラヤのナザレにかえられた。どようびに、イエスさまはかいどうでおしえ、みんなからそんけいをうけられた。そしてイザヤよげんしゃのまきものをわたされ、よみはじめました。{しゅの“れい”が・・・} このことばはふくいんをかきはじめてルカはテオフィロさまに（かみさまにあいされたひと）こういっています、イエスさまごじしんのことをあらわしています。イエスさまがきてくださったことによって、まずしいひと、くるしんでいるひと、びょうきのひとたちは、めぐみとちからをいただくようになりました。このことは、いまのわたしたちのあいだにほんとうにおこっているできごとです。

イエスさまはいつもわたしたちのちかくにおられます、わたしたちは、くるしいとき、こまったとき、かなしんでいるときこそそのりこえられるようにイエスさまはちからをくださいます。ミサのときによまれる「ふくいん」はわたしたちにおくられるよいしらせです。

そのよいしらせは、しょうらいのためではなく「いま」のためです。

ですから、みなさん「いま」かみさまのこえにみみをかたむけましょうね。
まいにちようび、イエスさまはきょうかいでまっておられますよ。

めいえ

